

CONTENTS

No.275 2022年8月号 草月指導者連盟機関誌

32 30 24 22 21 15 10 6 4 2

機関誌『草』の海外発送について

海外在住の会員の皆さまへの、機関誌『草/So Newsletter』の郵送によるお届けは前号をもって終了しております。今号より「草月指導者連盟メンバーズサイト」内にて、スマートフォンやパソコンから電子版をご覧ください。



『水に色をいける』

家元が水にインクを落とし色をいける。目まぐるしく変化する色彩、その一瞬を切り取るシリーズです。

表紙作品=勅使河原茜
表紙アートディレクション=永井裕明 (N.G.inc.)
表紙デザイン=前田由貴 (N.G.inc.)
表紙写真=金子親一
印刷=東洋紙業株式会社
制作協力=丸紅フォレストリンクス株式会社

お知らせ	カレンダー	インフォメーション	六本木夏至譚	レビュ	学校いけばな	百花万葉	支部活動報告	福岡県支部展	茨城県支部展	静岡県支部展	石川県支部展	宮城県支部展	第61回蘭友会らん展	第83回「顔から伝わるもの」	草月いけばな展「花のプレリユード」	勅使河原茜の花「涼をいける」
------	-------	-----------	--------	-----	--------	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	------------	----------------	-------------------	----------------

第103回草月いけばな展 日本橋高島屋にて、開催決定！

お待たせいたしました。
約3年半ぶりに、日本橋高島屋でのいけばな展が戻ってきます！
初代蒼風の時代より続く伝統ある草月いけばな展。
皆さまのご来場をお待ちしております。

【会期】2022年10月19日(水)～24日(月)

前期:10月19日(水)～21日(金) 後期:10月22日(土)～24日(月)

【会場】日本橋高島屋 S.C. 本館8階ホール

【監修】勅使河原茜家元

【主催】一般財団法人草月会

※出品応募に関しましては、既に締め切っております。
※会期や内容は変わることがあります。また天災及びその他不可抗力による事由により、草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。



第100回草月いけばな展(2019年)の様子

お問い合わせ [事業課]

TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

この秋、草月ワークショップ 「オータムセミナー」開催決定！

いけばなだけにとどまらない創作の喜びを実感できる「サマーセミナー」が、季節をあらためて「オータムセミナー」として戻ってきます！
詳細は10月号でお知らせします。どうぞ楽しみに！

【日時】2022年11月22日(火)・23日(水・祝) 予定

※各日ごとの開催内容となる予定です。

ただし講座によっては変更となる場合がございます。

【場所】草月会館 各所

【受講対象者】草月指導者連盟会員及び草月流学習者

【開講内容】4クラスを予定。詳細は10月号にて。



2019年のサマーセミナーの様子

お問い合わせ [事業課]

TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

観

測開始以降最速の梅雨明けとともに始まった今年の夏。いきなりの連日の猛暑で、この号が発刊される8月にはどんな暑さが待ち受けているのだろうと戦々恐々としています。どうぞ皆さん、くれぐれも熱中症などに気をつけてお過ごしください。

さて、関東甲信地方で梅雨明けが発表されたまさにその日、私は丸の内にあるミュージアム、「イン、

だから、おしゃべりはやめられない 83

勅使河原茜

顔から伝わるもの

など、多くの人物の表情豊かで自然体の姿を撮影されており、今回私もモデルの一人となりました。

家元に就任して20年以上、おそらく写真を撮られる機会は人より多いと思いますが、いまだに慣れません。花をいけている姿を撮られるなど、なにかシチュエーションが用意されていけば平気なのですが、いわゆるポートレートは本当に苦手。今回は田中、

ターメディアテク」に向かっていました。『草』や『草月』でたびたび人物撮影をお願いしているカメラマンの田中良知さんがこちらで写真展を開催することになり、その被写体となるためです(ちなみに、『草』の今年2月号に掲載された萱のインタビュー写真も田中さんが撮ったものです)。田中さんは「資性を写す」を信条に、子どもから長老、職人、俳優、アーティスト

さんの手腕で気持ちよく撮影を終えることができませんでしたが、そういうときばかりではありません。「自然に動いてください」などと言われると、冗談ではなく右手と右足が一緒に出てしまったりします。

師範の皆さんのポートレートを拝見する機会もありますが、80歳を超えるような重鎮の方々の表情には、ある種の凄みすら感じます。何十年にもわたり、

いけばなという一つの道を貫く。その精神や心は並

大抵のものではありません。私はもともと顔立ちというよりも、醸し出す雰囲気や素敵な人に憧れる傾向があるのですが、こういった強く、美しい表情は、年齢を重ね、あらゆる経験に裏打ちされてこそ出せるものなのでしょう。いけばなにその人の内面が出るように、顔にもやはりその人が出るので。

今、改めて実感するのは、表情が豊かな人のほうが得だということです。いけばなの指導をされている方も多いと思いますが、何かを教えたり伝えたりする立場の人が能面のような顔をしてはいけません。どうしたら相手にわかってもらえるかを常に考えながら、あらゆる表情で伝えるようにしてみましよう。また、受け手側も納得できないことがあれば遠慮せずに言っているのです。もちろん、いきなりオープンになれる人ばかりではないでしょう。かく言う私も、どちらかというと遅咲きのタイプでしたから、気持ちはよくわかります。しかし、自由な草月流を学ぶ人が守りに入ってしまうのは実にもったいないことです。ワンパターンに陥らず、殻を破ろうとしてみてください。それを楽しいと思えるようになると、顔つきも作品も変わってきます。

最近我ながら、笑っていることが増えたなと思います。それは、年をとるにつれて、恥ずかしがり屋だった



上は1990年、下は2015年撮影のポートレート。
ぎこちなかった笑顔も、今では得意技(笑)になりました。
Photo: Kozo Sekiya (上), Aisa Kasai (下)

た幼いころが嘘のように、どんどん人が好きになっていったからです。ちよつとしたことで笑えることが本当に幸せですし、周りの人にもそうあってほしい。そのために自分は何ができるかということに常に考えているからこそ、笑顔が増えたのかもしれない。今後写真に撮られるのは苦手なままな気がしますが(笑)、いつもいい顔でいられるように心がけたいと思います。

●最新の家元ポートレートが展示中!

特別展示 『PHOTO LOGIC — 田中良知 ×IMT』
会期：2022年7月26日～9月25日 〈入場無料〉
時間：11:00～18:00 (金・土は20:00まで)

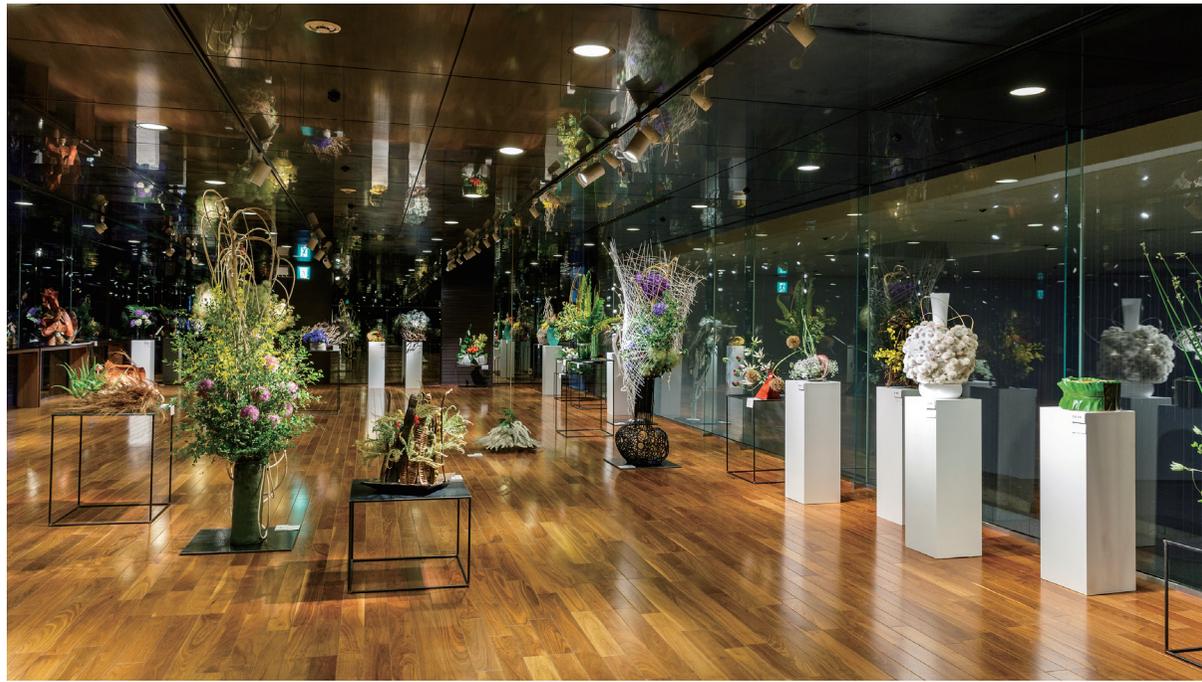
休館日：月曜日(月曜が祝日の場合は翌日) ※詳細はインターメディアテクのホームページをご確認ください。

会場：インターメディアテク2階「GREY CUBE + SPECOLA」

住所：東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE2・3階(JR東京駅から徒歩1分)

〈モデル体験の公開イベント〉詳しくは <https://tanakayoshitomo.myportfolio.com>





小品を中心とした作品が並んだ草月会館2階の談話室。ここには6期あわせて228作品が展示された。展示台の高低に緩急をつけ、床上がり作品あり、吊り作品ありの多彩な構成で、見応えのある空間となった。



夜間にライトアップされた家元作品。光と影が共演し、屋間とはひと味違う幻想的な景色が広がった。

草月いけばな展 花のプレリュード

2022年6月8日～26日 / 草月会館

未来へのプレリュード

初夏から盛夏へと向かう中、草月会館にて草月いけばな展が開催された。新型コロナウイルス感染症対策としてすっかり定番化した断続的・少人数制の開催とし、各期2日間、6期制での展示となった。

会期に先駆け、草月会館1階の正面入口には家元による大作が展示された。力強く組まれた丸竹の直線と、ふわりと揺らめくような割竹の曲線の対照が印象的な作品は、梅雨の鬱屈とした気候が続く中、展覧会に訪れた人々、青山通りを行き交う人々にひと時の涼をもたらした。

会期中は新規感染者数が比較的落ち着き、世の中が活発に動き始めたタイミングでもあった。出品者は、家元が今回の展覧会に寄せた「植物を通して自分の心に真摯に対峙すること。一輪の花に秘められた無限の力に思いを馳せること。創造の喜びをかたちにすること。」の言葉どおり、明るい日常が戻りつつあることへの期待と希望を作品に込め、高らかに「プレリュード」を奏でた。

季刊『草月』2022年秋号(9月1日発売)にて「花のプレリュード」を特集。デザインと実際の作品を掲載する初めての試み。どうぞお楽しみに!

『草月出版』フリーダイヤル:0120-087-202

涼をいける



だんちくは夏ならではの花材。群生しているときよりも、いけばなにすることで風情が出て、魅力が増します。斑の入り方や太さも色々なので、一つひとつの表情をしっかり見つめながらいけることが大切。

花材：だんちく、あじさい、ひめゆり 花器：籠 サイズ：125×73×83cm



夏にふさわしい、目にも涼しげな籠。
清らかな風が通り抜けていく様をイメージしながらいけました。

花材：かえで、やまゆり、笹ゆり 花器：籠 サイズ：54×55×50cm



蓮の葉の大きな面と茎の線を強調することで、花器とのバランスを楽しみました。
葉の重なった部分の透かしが、いっそう涼感を演出します。
花はあえてつぼみのみを使い、色のアクセントに。

花材：蓮 花器：陶器花器（あらたにみさ子） サイズ：79×37×27cm



たくさんの花材たちが楽譜に音符を刻んでいる——そんな空気感を醸しました。
軽やかにリズムカルに、メロディーを奏でるように。

花材：つるうめもどき、くがいそう、てっせん、ききょう、菊、笹ゆり、りんどう、アスター、あざみ、オーニソガラム
花器：漆花器（初瀬川松太郎） サイズ：69×85×53cm

福岡県支部展

花の力ーあらたなる挑戦

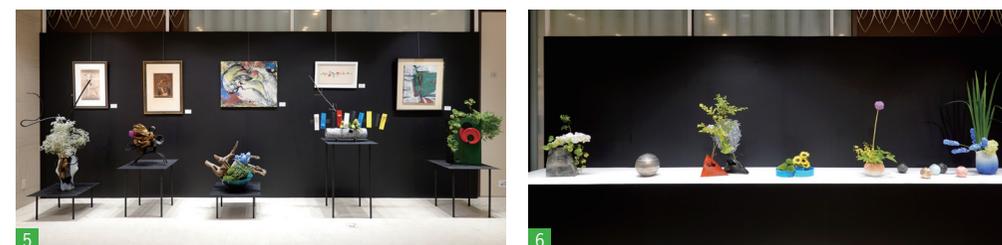
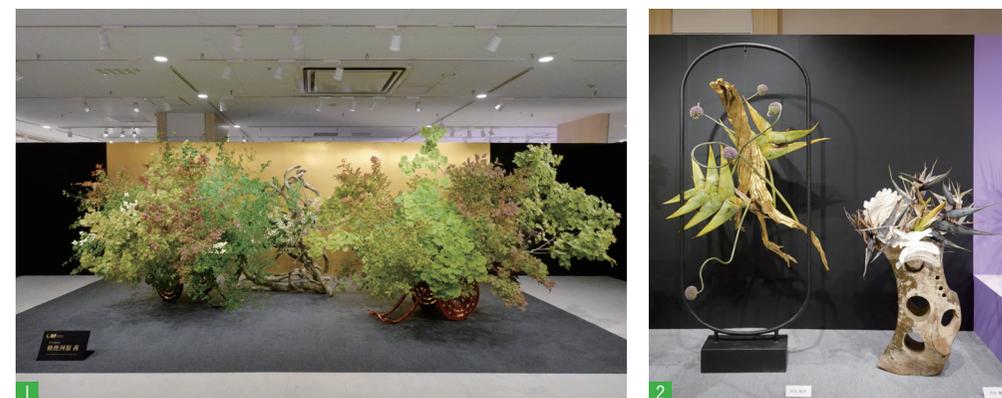
5月19日～24日
博多阪急8階会場

5年ぶり、念願の開催

家元出品のもと福岡県支部展が開催された。5年ぶりの開催となる今回は、支部のメンバーにとっては、コロナ禍により長い間開催が叶わず待ちに待った支部展。作品に込められた思いの強さを感じさせる熱意に満ちた花展となった。

家元は、2台の御所車に新緑の美しさを存分に味わうことのできる大作をいけ、どうだんつつじ、なつばぜ、いたやかえでなどがそれぞれ微妙に違う色合いの葉を重ね、妙なるハーモニーを奏でた。

から「ARTIA PLUS (有田焼)の作家による器や、みぞえ画廊とのコラボレーション「アートとの語らい」コーナーなどが設けられたほか、デモンストラーションや体験レッスンも実施。地元TV局や新聞社も詰めかけ、会期を通じて大盛況を博した。



1 家元作品。左右2台の御所車には新緑がいけられ、竹を組んだ中央部分にはグロリオサが彩りを添えた。
2 左は片山紅早支部長の作品。右は片山健さんの作品。
3 4 会場内では、花をいけ作品を発表するよこびが色とりどりに開花した。
5 「アートとの語らい」コーナー。
6 地域資源の活性化を意識した有田焼とのコラボレーションコーナー。

茨城県支部展

つながり〜風を感じて〜

5月20日～22日
南町自由広場

イサム・ノグチの作品と

茨城県の県庁所在地である水戸市の中心部に位置する南町自由広場にて、茨城県支部展が開催された。この場所は毎年水戸市華道連合会主催のいけばな展が開催されていた場所から徒歩数分の場所。今年3年ぶりに同いけばな展が開催されるにあたり、支部展の同時開催を決定した。訪れた人は2つの展覧会を、一度に鑑賞することができた。

コロナ禍を考慮し、前回に続き野外会場での展示となったため、制作の過程も公開する形となった。奇しくもこの広場には昨年9月より、草月会館の「天国」と同じくイサム・ノグチがデザインした遊具彫刻「プレイスカルプチュア」(レプリカ)が常設展示されている。支部会員は草月流との不思議な縁を感じながら、力をひとつに合せて制作に励んだ。

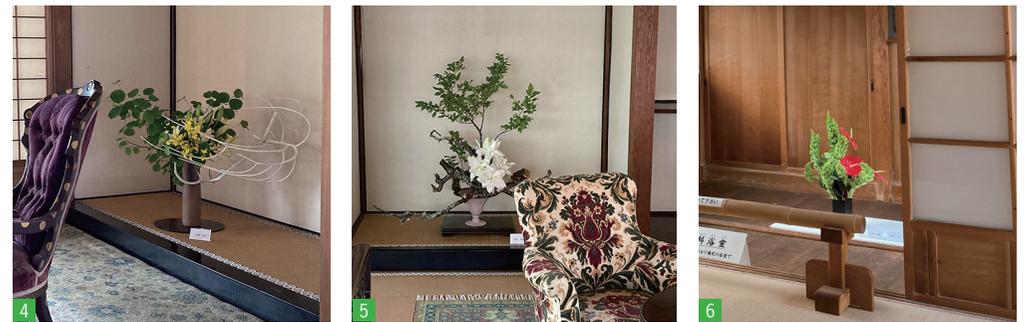
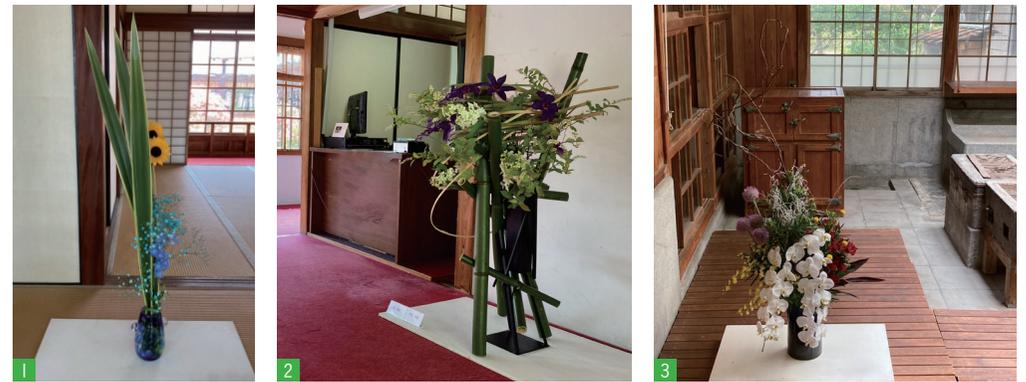


1 2 3 開放的な広場に展示された支部作品。3の奥に見えるのが、イサム・ノグチのデザインによる「プレイスカルプチュア」のレプリカ。
4 支部展と同時期に開催された水戸市芸術祭いけばな展に出品した草月の作品。丸竹の直線と、割竹のしなやかな曲線を融合させ、さらに割竹で制作した筏を添えて、力強さと優雅さの漂う空間を創造した。

静岡県支部展

「二歩前へ」ブロック展 Part I

5月27日～29日
沼津御用邸記念公園西附属邸



1 大澤秀紅支部長の作品。
2～6 「主玄関」「調理室」「謁見所」「御料浴室」など、あらゆる所で「場にいける」を実践。
7 御用邸内に断続的に展示された作品。三密を避けるべく、支部を3ブロック（東部・中部・西部）に分けての開催とした。
8 自分たちでデザインを考え、あしたか芸術村で制作した自作花器にいた作品を展示。

5月のさわやかな風を
貴重な宮廷建築と、松林などの景観が楽しめる沼津御用邸記念公園西附属邸にて、静岡県支部展が開催された。
ここは20年以上ボランティアで常設展示を行うなど、草月とは縁のある場だが、支部展の開催は久しぶり。御用邸では初出品という会員もおり、独特の緊張感と高揚感があった。
今回は、「コロナ禍でもできることをしよう」という思いから、小品・中作を中心に展示。陶芸・ガラス花器体験で制作した自作花器にいたるコーナーも設け、会場内での展示がなるべく途切れないよう、構成にも配慮した。いけばなを通じて5月のさわやかな季節を感じてほしいという願いを込めて熱心に制作したかいあり、沼津朝日新聞にも掲載。「新聞を見て来ました」という嬉しい来場者の姿もあった。

石川県支部展

第19回石川県支部展 奉納いけ花展・献花式

6月3日～5日
尾山神社

百万石まつりとともに

緑豊かで、市民の憩いの場として親しまれる尾山神社。ここで行われる金沢市祭の百万石まつりに協賛する形で、石川県支部展が開催された。

今回は「花 ひびきあう」をテーマに、境内に大作12点、拝殿に大作1点・小品17点を展示。ある作品は場に溶け込むように、ある作品は存在感を發揮するなど、各々が草月の楽しさ、新しい表現、意外性などをアピールした。

最終日には拝殿で献花式が行われ、尾山神社に祀られる前田利家の正室、おまつの方がこよなく愛したというしゃくやくを使った爽やかな献花が奉納された。

3年ぶりの開催で賑わいを見せた百万石まつりとともに各メディアにも取り上げられ、コロナ禍からの復活の兆しを共有する貴重な支部展となった。



1 谷口桂朋支部長らによる合作。
2 支部長が献花を奉納。しゃくやくの他、なつはぜ、ゆりなどを使用した。
3～6 金沢城から尾山神社への鼠多門が完成して人の流れがスムーズになったことから、多くの方にご鑑賞いただいた。前回好評だった一般の方に花をいけてもらうイベントも開催。参加者の中にはウクライナからの避難女性も。

香水のプロモーションにいけばな

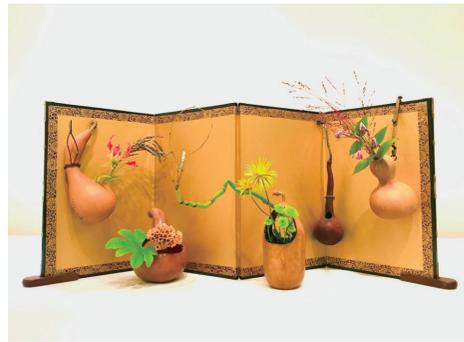
2019年11月6日
イタリア(ローマ) / Campomarzio70
大谷美香



ローマの香水専門店で、「AO(青)」という名の香水が発売されるのになみ、青い素材を使ってデモを行っ

第71回鎌倉市民文化祭「華道展」

2019年11月2日・3日
神奈川 / 鎌倉芸術館 ギャラリー
上原瑞光



5種類のひょうたんを花器として使い、金屏風にまとめた。来場者や他流の方から「かわいらしい」と好評。

多治見市陶磁器意匠研究所 入所式

2021年4月12日
岐阜 / 多治見市陶磁器意匠研究所
古田静波



研究所のラボ生に進級する生徒さんの花器に、グロリオサやゆりなどを使っていった。

癒やしの花

2020年4月1日~18日(樋口社中)、4月19日~30日(坂元社中)
宮崎 / JR日豊本線佐土原駅構内
樋口南草社中・坂元清草社中 写真作品:坂元清草



コロナ禍で緊急事態宣言が発令されていたため、応援の気持ちを込めて、癒やし、ストレス発散を願っていけ

花のOMOTENASHI

2021年5月29日・30日
福井(越前町) / 草月陶房
藤井春典・片山和典・村田千典



年に一度の越前陶芸まつりに合わせて開催されるイベント。野外に思いおもいの作品を展示した。

生け垣を彩る

2021年5月
岐阜
山室慶祐



自宅のつつじとさつきの生け垣と、着色竹ひごのオブジェをコラボ。通りがかりの方々から声をかけられ



1 大友春宵支部長の作品。2 丹野霞園さん、鈴木陽翠さんによる合作。
3 竹内霜光さん、篠原秋光さんによる合作。4 5 黄色いアンブレラを使った高さ3.5mにも及ぶインスタレーション。
6 天井の高い、広々とした空間に作品が映える。
7 宮城草月作家協会会員40名による、かんたんで楽しく、親しみやすい小品を展示したコーナー。

宮城県支部展

平和を祈る黄色いアンブレラと花々との競演

6月4日~6日
せんだいメディアテーク

SDGsの精神のもとに

仙台の美術や映像文化の拠点となる、せんだいメディアテークにて、宮城県支部展が開催された。

3年ぶりとなる今回の支部展は、「今だからこそできることは何か」と考え、コロナ禍で苦境が続く地元の花生産者の方を微力ながら応援したいという思いを込めて企画・構想。SDGsの精神のもと、花生産者の規格外の花を使って自由な表現に挑戦した。生産者の方から直接会場に届けていただいた、カーネーション1200本、ガーベラ3700本、スプレー菊500本、ばら700本などを活用した、優しさや創意溢れる作品が会場を彩った。
今回のテーマのシンボルとなったインスタレーションは、平和を象徴する黄色をモチーフに制作。会場中央に黄色いアンブレラのロードが完成した。

Japan Fairにいける

2021年10月15日～17日
アメリカ / OC Japan Fair & Event Center.U.S.A
北島和幸



野外会場で大木に竹のラインを合わせ、ダイナミックな作品に。夜はライトアップされ、コロナ禍の空に希望の光を表現。

第20回フェスティバル〜ん

2021年10月15日
東京 / 港区立生涯学習センター
平嶋英宝・矢野嶺宝・石川光宝 他草月12名



毎年秋に行われるが、今回は20周年記念としてWEB開催に。ふだん稽古している場を会場に秋の草花で彩った。

高齢者施設にいける ハロウィンに

2021年10月15日～31日
神奈川(藤沢市) / ライフケアガーデン湘南
鈴木光村社中



高齢者施設のロビーに毎週花をいけている。入居者の皆さんに花の名前を聞かれるなど、共に楽しんでいる。

エキチカ×いけばな

2021年10月15日～17日
JR岡山駅エキチカひろば
三宅香星社中・伊達香貴社中



岡山市芸術祭のイベント「エキチカ×いけばな」に参加。2つの社中で大作を制作し、オープンスペースに展示した。

2021 宮下透翠個展&グループ翠SUI展

2021年10月20日～24日
東京(中央区) / セントラルミュージアム銀座
宮下透翠&グループ翠SUI 写真作品:宮下透翠



久々の展覧会、個展の集大成として空間を存分にいかして制作した。生徒も各々大作に挑み、良い経験の場となった。

「いけたwa」 Flower Basket教室展

2021年10月19日～24日
大阪 / 豊中市立市民ギャラリー
お花の教室 Flower Basket こうたけ



初めての場所での教室展、個人作20点、40本の自作ドライフラワーで制作したガイドランドを使った合作などで構成した。

ムサ美埼玉2021展

2021年9月7日～12日
埼玉県立近代美術館
藤本遙染



美術館での植物造形の展示のため、素材は全て燻蒸処理が必須。ワイロドでパワリ溢れる四方正面の作品とした。

中平美彦・陶うつわ展

2021年6月23日～29日
東京(中央区) / 銀座三越本館7階ジャパンエディション
諸岡萌昇・畠山知香



灰白色のうつわが特徴の展示会に花で彩りを。エスカレーター前の装花はお客様の流れを変えたと喜ばれた。

14回加西市老連文化展

2021年10月8日～10日
兵庫県(加西市) / アステアかさい3階
大橋義延 他



文化展に出品。いけばなが展示されるのは初めてのこと。古代米の稲穂で制作したトンネルが反響を呼んだ。

ホテルのロビーに

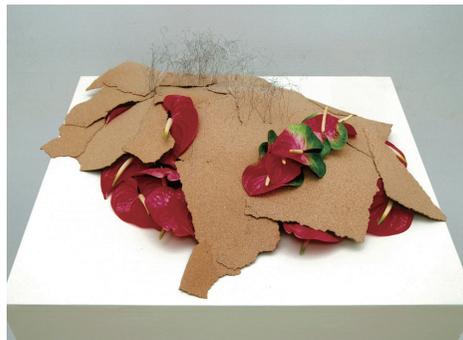
2021年9月17日～10月
福島(郡山市) / ホテルハマツロビー
菅野草苑社中



コロナ禍のため少人数で制作。ホテルの創業者が特注した大きな花器を使い、紙を使った軽快な作品にした。

兵庫県いけばな展 ―いけばなで、癒しの時間をふたたび。―

2021年10月14日～19日
兵庫 / 大丸ミュージアム(神戸)
久保丹啓(写真作品)・岡島真草・福島芳汀・池田瑞花・吉野青薔・中務美泉



緊急事態宣言が明けて初めての花展。「このときを待っていました」とばかりの入場者数で、嬉しい悲鳴となった。

大崎市民ギャラリー開館25周年記念 たけくらべ

2021年10月13日～24日
宮城 / 大崎市民ギャラリー緒絶の館 蔵ギャラリー
丹野霞園



竹の造形美を紹介する企画展に出品。緒絶川が流れる自然と、そこで暮らす人たちの結びつきを80本の青竹で表現。

第70回県華道展

2021年10月31日～11月3日
徳島／あわぎんホール
草月22名 写真作品：藤目順雪



コロナ禍で2年ぶりの開催となった徳島県華道連盟による県華道展。出品者にも来場者にも笑顔が溢れた。

香川発 伝統と現代をしつらえる

2021年10月30日・31日
香川／史跡高松城跡玉藻公園披雲閣大書院
岡本麗弘社中10名



ファッションショーとのコラボ企画で、日本間に合う作品を展示。「いけばなで粋なショーになりました」と喜びの声が。

まるがめ文化芸術祭

2021年11月2日・3日
香川／丸亀市生涯学習センター
草月8名 写真作品：関薫美



久しぶりに開催された花展。市内の池坊、小原流、嵯峨御流、華月流、遠州流、一正流、草月流の師範以上が出品。

うだつ 藍と花

2021年10月31日～11月14日
徳島／藍商佐直 吉田家住宅
出村丹雅草社中



かねてより検討していた徳島の特産の藍染との合同展を実現。相乗効果で互いの魅力が引き出され、大盛況となった。

福岡市華道展

2021年11月4日～7日
アクロス福岡
福岡県支部会員 写真作品：片山紅早



福岡市を代表する流・会派の作品が一堂に会するいけばなの祭典。入場者も年々増えている。

須坂市表彰式会場にいける

2021年11月3日
長野／須坂市シルキーホール
黒岩千景・松澤芳美・村石かず子



市より依頼され、前年度に続き、文化の日の表彰式会場にいける。依頼者側や受賞者の皆さんに喜ばれた。

第47回東村山市民文化祭

2021年10月22日～24日
東京／東村山市民中央公民館
石原融・高野綵花



いけばな時間を減らすため、「水のなしいけばな」で参加。迎え花など4作品を展示し、来場者の目を惹きました。

鳴門市展

2021年10月23日・24日
徳島／キューエイ鳴門駅前店
板井修晴・藤目順雪・岩生京雪 写真作品：板井修晴



74回目となる華道展。花に携わることの喜びを分かち合いながら、和気藹々といけばなを行った。

第55回いけばな大阪展

2021年10月21日～26日
大阪／あべのハルカス近鉄本店 近鉄アート館
草月19名 写真作品：岡本青珠以下6名による合作



コロナ禍の影響で、前・後期どちらかの出品という流派もあったが、草月は前・後期に分かれて19名が出品した。

第4回「耀の会」いけばな展

2021年10月23日・24日
富山／北日本新聞ギャラリー
富山県支部 耀の会



急逝された耀の会前代表の喜多野瑛さんの未完成作品を展示。喜多野さんを偲んで、たくさんの方が来場された。

第22回大澤秀紅社中展

2021年10月30日・31日
静岡／三島商工会議所TMOホール
大澤秀紅社中展



新型コロナウイルス感染拡大防止のため壁作品と床上がり作品で構成「花に癒やされる」と喜ばれた。

第29回名古屋いけばな芸術展2021

2021年10月26日～31日
愛知／名古屋市民ギャラリー栄8階 第6～11展示室
草月23名 写真作品：中川閑雅



名古屋市民芸術祭の主催事業である名古屋いけばな芸術展で、複数の流派が各々の特徴をいかした作品を展示した。

● 学校いけばな

開校34年目の花

福井県立武生東高等学校
指導：藤井春典

2021
9/2
～5



開校以来34年続いている文化祭の花。生徒たちが楽しめることをモットーに指導をしている。放課後に集合し、時間をかけて作った作品を展示した。

2年ぶりの文化祭

長野女子高等学校
指導：米澤好恵・山崎恵美子

2021
7/11



コロナ禍で2年ぶりとなった文化祭。授業で作った作品や大作等を展示しました。オンライン配信ではありましたが、生徒たちも楽しそうでした。

クリスマスアレンジメント

岩手県立盛岡第三高等学校
指導：古舘紫映

2021
12/8



コロナ禍で前年に続き書・華道部合同作品展の開催は叶わず。代わりにふだんの部活動の時間内に、クリスマスツリーに見立てた作品をいけました。

秋の文化祭に

大分／日本文理大学附属高等学校
指導：佐倉洋佳

2021
10/29



文化祭に個人作品と、大作・壁作品各一点を学校の玄関先のロビーに展示しました。中でも壁作品は、迫力があると皆さまに好評でした。

壁作品が目を引くわ

イヴ祭に

京都／同志社女子大学
指導：石走俊佳

2021年度



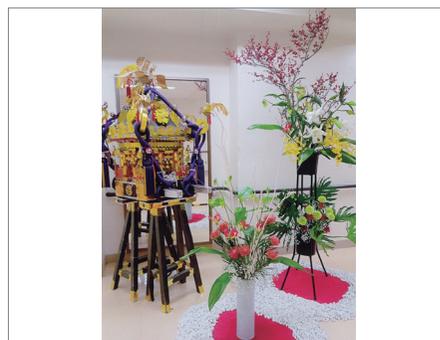
年間を通じて活動しています。11月のイヴ祭では、4年生と下級生がペアになり、推しのデザイナープリンセスの世界観を表現。交流が深まりました。

これも「推し活」!

「花火・冬の祭」

東京都立秋留台高等学校
指導：野口蛭水

2021
12/10
～23



コロナ禍で文化祭が冬に延期に。「花火・冬の祭」というテーマで合作と個人作を展示しました。合作は手作りの神輿とともに花火をイメージした作品を制作。

スノーフラワーいけばな展

2021年11月6日・7日
千葉(市川市)／スノーフラワー・妙典教室
スノーフラワー会員十堀江祥雪



コロナ禍のため前年に続いて公民館の文化祭が中止に。代わりにいつもの教室で、ミニいけばな展を開催した。

UOEと仲間たち花展 —いけばなにコラージュを—

2021年11月5日～7日
東京(大田区)／田園調布せせらぎ館
松村魚瑛社中



館の企画展として開催。隈研吾氏設計の建物に呼応するように、いけばなにコラージュをコラボさせた。

～秋の彩り～いけばな展

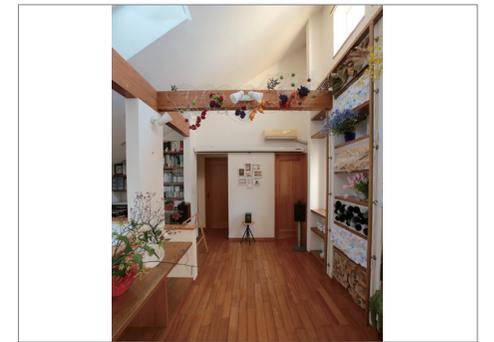
2021年11月6日・7日
沖縄(国頭郡)／もとぶ文化交流センター
玉城永涼社中



本部町の観光拠点のセンターが新築され、お祝いを兼ねて社中展を開催。沖縄の花材を中心とした作品を展示した。

Hotto Lounge'M'いけばな展(武藤蕉朝社中展)

2021年11月6日・7日
東京(世田谷区)
草月14名



自宅で開催するのは5回目となる社中展。今回は展示場所を広げ、平面分割、壁作品、吊り花の要素を取り入れた。

いけばなと音楽ライブ「竹、音、花。」

2021年11月13日
栃木(宇都宮市)／若竹の杜 若山農場
竹内双芽・加藤春和・野澤彩葉・本山夏枝



宇都宮の和楽器集団「五人衆」とのコラボライブに出演。竹林をバックに竹のインスタレーションを公開制作した。

第67回大船渡市民芸術祭

2021年11月6日～8日
岩手／大船渡市民文化会館
草月25名



写真は7名による合作。翌年開催予定の「椿サミット」に合わせ、市の花である椿をメインに、ダイナミックな作品に。

鉄花器に夏をいける

六本木夏至譚
7月8日～10日
ANB Tokyo

茜家元と座・草月が新作の鉄花器に「夏」をいける、「六本木夏至譚（ろっぽんぎげしたん）」が六本木のギャラリーで開催された。昨年も同場所で鉄花器の販売会が行われ、好評を得たの第二弾。家元も参加するスペシャルな展示となった。今にも動き出しそうなフォルムの花器は、来場者に大好評だった。



新作鉄花器に「夏」がつけられた。

待ち望んだ展覧会

AT賞展
7月8日・9日
草月プラザ

コロナ禍で延期となっていたAT賞展が、満を持して開催された。今回は、第17回・18回選考会での受賞者による展覧会となった。

AT賞は2002年に勅使河原茜家元の家元継承を記念し、茜家のイニシャルを冠し創設された賞。本部家元研究科、草月WEST家元研究科で研鑽を積んでいる方々の中から、最終選考を経て家元により選出されている。

第17回受賞者は、北島里夏さん、強瀬草陽さん、佐藤蓉清さん、中島杏



草月プラザで開催されたAT賞展。場をいかした作品の数々。

翠さん、新田隆嘉さん、堀田丹順さん、水野紫遙さん。第18回受賞者は今津友青さん、平塚恵春さん、深澤晴保さん、藤倉清佳さん、堀田丹順さん、松井青焰さん、森島志鳳さん。

オンラインでの会議

全国支部長会議
5月12日
オンライン

全国支部長会議がオンラインで開催され、各支部より活動報告が行われた。「総会でいけばなバザールを開催」「支部のインスタグラムを開設」「ホスピスでの花展を行い、命について考える機会となった」「水のないいけばな展を参考に、出品料の安い展覧会を開催。若い人たちにも声を掛けやすかった」など様々なアイデアが発表され、今後の運営の良い参考となった。



オンラインでの全国支部長会議の様子。

スピノフ企画

新しいけばな主義リレー個展
6月3日～8月7日
麻布十番ギャラリー

これからのいけばなを考える会運営員有志によるリレー個展が開催。「新しいけばな主義」のスピノフ企画として行われた。草月流からは秋山美晴さん（本部講師）、大泉麗仁さん（本部講師）、篠田岳青さんが出品。天井高の空間をいかして、造形の世界を展開した。



左は秋山美晴さん、右は大泉麗仁さんによる個展の様子。

蘭でお出迎え

第61回蘭友会らん展
5月19日～22日
サンシャインシティ

「第61回蘭友会らん展 in サンシャインシティ」多様性の宝庫として、東京南支部による蘭を使ったいけばなの展示が行われた。会場入口には「蘭でお出迎え」と題して、蘭友会よりご提供いただいた数種の蘭と、枯れもくれん、モンステラ、あせびを使った支部合作を展示。会場内には「蘭で遊ぶ」いけばな展として、小品を中心とした作品が展示された。



らん展での東京南支部による合作。

草月会館4階のショップ名を募集!

草月会館4階のショップフロアは、書籍・鉄花器・草月陶房オリジナル花器・いけばな道具を取り扱う店舗としてリニューアルオープンします。「いろんなものがまとめて買える!」「このお店に来ると楽しい!」—— 今後も、便利で楽しく、会員の皆さまに愛される店舗を目指してまいります。そんな新店舗の名前を大募集! ご応募お待ちしております。

【応募方法】

草月流公式ホームページより「新店舗名応募用紙」をダウンロードするか、以下の①～⑥をご記載の上、メール、FAX、郵便でお送りください。
①お名前 ②会員番号 ③ご住所 ④電話番号 ⑤新店舗名（ふりがな、希望表記もご記載ください。例：出版 Shuppan SHUPPAN など）⑥店舗名への思い、新店舗へ期待することやメッセージなど
※電話による応募受付はいたしませんのでご了承ください。

【応募先】

メール：shuppan@sogetsu.or.jp
FAX：03-5770-5607
郵便：〒107-0052
東京都港区赤坂 7-2-21 草月会館4階
草月文化事業株式会社 新店舗名募集係

【応募期間】2022年8月31日（水）まで
※応募期間中は、何度でもご応募いただけます。

【発表】

機関誌『草』、草月流公式ホームページ、SNSにて。
決定した店舗名に応募された方には、新店舗の取扱商品をプレゼントします（家元サイン入り作品集、花器・鉢などのいけばな道具など）。

【お問い合わせ】

草月文化事業株式会社 出版部
TEL：0120-087-202（フリーダイヤル）
メール：shuppan@sogetsu.or.jp

入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください!

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性があります。予めご了承ください。開講予定や申込受付等に変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、本部教室または草月WESTまでお問い合わせください。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。
いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

9月	7日(水)	澤田晃映	10月	7日(金)	澤田晃映
	16日(金)	西山光沙		12日(水)	西山光沙
	30日(金)	岩淵幸霞		28日(金)	岩淵幸霞

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時(受付:17時30分~19時30分) ●入会金:11,000円 ●月謝:12,040円(月3回分・花材費別) ※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,440円・花材費込み/都度払い)。
※8月は休講となります。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

9月	5日	坂口水恵	10月	3日	坂口水恵
	12日	高木水染		17日	石川己青
	26日	石川己青		24日	福島光加
				31日	高木水染

●毎週月曜日 ●10時30分~12時30分 ●受講料:5,600円/1回(花材費込み。月4回目以降は5,240円)
※証書申請可能。 ※8月・祝日は休講となります。

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス!
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
9月7日(水)	あなたならどうする!? 楽しい残暑の花	 福永早苗	今はドライ花材を作るのに最適な季節です。 種々の植物を自分なりに工夫して、枯れもの、着色もの、晒しものを作り、作品化するのに必要なものをご持参ください(この季節にしかない素枯れでも可)。素敵ないけばなと併せます。各々の手によって甦る新しい花の姿を楽しみましょう。
10月15日(土)	自分らしさから、 新たな自分へ (アイデアとテクニックの 引き出しを増やす)	 前田早苗	「あなたらしい作品ね」と言われた時、あなたは嬉しいですか? 否!? 色々な素材から、経験・テクニックの引き出しを増やし、誰もが一度はぶつかる迷いの壁を打破する勇気と決断力を養い、新たな自分に挑戦しましょう。
11月12日(土)	楽しくアート作品を創作	 丹野霞園	粘土を既成概念ではなく、逆転の発想により、作品工程の中に取り入れ、石膏作品を2つ以上作成し、それぞれの作品を1個のオブジェとして完成させます。 また、それらを花器としていけばなをいけることにより、新しい自分を発見してみませんか。 今回の様々な工程により、今までの概念を別の方向から考えることにより、チャレンジする面白さを実感できることでしょう。是非お楽しみください。

●授業時間:10時30分~16時 ●受講料:12,970円(材料費・昼食代込み)/入会金なし
●申込資格:草指連会員 ●定員:40名 ●募集:随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。
[郵便振替口座] 口座番号:00180-6-119808 / 加入者名:(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に(お持ちの方は)メールアドレスをご記入ください。 ●申込締切:開催日の1週間前(ただし定員になり次第締め切ります) ※お申込み後のキャンセル・返金はいたしかねます。 ※お申込み後でも、翌月以降(年度内)に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費(材料費および昼食代)をいただきます。

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追求することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
9月	2日	3日	5日	奇をてらう。 それは己の未熟さの表われか。	日向洋一
10月	14日	15日	17日	器も素材 意識して	小沢清香

●申込方法:入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料:12,200円(花材費込み) ※受講日に草指連会員証をご持参ください。 ※8月は休講となります。

花と人間のリアルな出会いと交流の中こそ、
いけばなの真髄は存在する。

—— 勅使河原茜 日本女性新聞(2020.09.15)より

家元研究科ではあなたの作品を家元が直接指導します。
草指連会員の方であればどなたでもご参加可能です。
多くの作品や人との素敵な出会いを求め、いけばなの真髄へ自由に大胆に飛び込んでみましょう!



家元のデモを間近で見ることが出来るチャンス。リアルな出会いを大切にしている家元らしく、和やかな雰囲気での講座です。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。
ワンレッスン受講することもできます(※ご入会手続きが必要です)。

再入会金が不要

9月	火曜	6日	隅出美泉	13日	加藤久美子	20日	中村草山
	木曜	1日	坂口水恵	8日	岡崎 忍	15日	篠崎洵雅
10月	火曜	4日	中村草山	11日	岡崎 忍	18日	篠崎洵雅
	木曜	6日	隅出美泉	13日	坂口水恵	20日	加藤久美子

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時(各日3回開講) ●入会金:11,000円
●月謝:12,040円(月3回分・花材費別) ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。
※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,440円・花材費込み/都度払い)。

家元研究科

講師からはテーマは出ません。受講者自らが考え、自由に植物表現を探究します。新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金曜	土曜	探究「私の花」 私はなぜ花をいけるのか？ 私が目指す植物表現とは？ 私が追究したい素材は？ 自由花って何？	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
9月	16日	17日	自分がすべきことは何かを受講者自ら考え、草月らしく自由に楽しく新しく、植物表現を探究しましょう。それを積み重ねてゆくことでそれぞれの「私の花」がより輝きます。講師が今の「私の花」を受講者に披露するデモンストレーションもあります!!	竹中麗湖
10月	14日	15日		福島光加
11月	18日	19日		片山 健

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料（家元）：12,200円（花材費込み）／（本部講師）：10,100円（花材費込み）※授業開始の20分前から受付を開始します。

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

9月	金曜	9日	加藤久美子	23日	中田和子	30日	五十野雅峰
	土曜	10日	〃	24日	〃	10月1日	〃
10月	金曜	7日	石川己青	21日	澤田晃映	28日	中田和子
	土曜	8日	〃	22日	〃	29日	〃

●月3回 金曜・土曜 ●金曜（14時30分／18時30分）、土曜（10時30分／14時30分） ●入会金：11,000円 ●月謝：11,000円（月3回分・花材費別） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能（4,500円・花材費1,700円／都度払い）。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
8月23日（火）	ふんわりフィルターの徹底追求	 平石丹珠萌	換気扇フィルターを使用して、白ベースにデザインワイヤー（自遊自在）をプラスして制作します。植物で表現する瑞々しさや情緒性に頼ることなく、異質素材の特徴をいかし、明快なフォルムを目指し、明るい雰囲気の商品が作れるといいでしょう。
10月4日（火）	ポジティブな言葉からの発想 ネガティブな言葉からの発想	 秋山美晴	「ネガティブな曲は作りやすいが、柔らかく温かな曲は難しい」とは、あるミュージシャンの話。そこからヒントを得て、自分自身の内面に目を向ける様にネガティブな言葉から一作。次に、他者へ届ける様な気持ちでポジティブな言葉からも一作いけます。言葉から感じた事と自身の作品の見え方、その誤差が無くなる事を意識的に目指してみよう。最後は、言葉が作品のタイトルになる様な気持ちでのぞみたいと思います。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：4,400円（教材費別） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切：開催日の前々週の週末

随時募集中 陶芸コース

自作花器を作りたい方、ものづくりが大好きな方大歓迎

植物が持っている美しさだけに頼らない造形力を身に付けるため、1981年に宏前家元の提唱で開講した「造形科教室」。幅広い角度から「創造する精神」を学ぶ講座は、草月の大きな特色となっています。陶芸コースが2022年度受講生を募集！草月流を学んでいる方ならどなたでもご受講いただけます。

受講日	講師	内容
原則 月2回 火曜日、水曜日 ①6/21・22 ②7/19・20 ③8/23・24 ④9/27・28 ⑤11/8・9 ⑥12/20・21 ⑦2023年1/24・25 ⑧2/14・15	 加藤清之  飛松弘隆	土と向き合い、思いのままにその人の内にあるものを土で表現していきます。焼き物は初めて、という方も安心してご参加ください。この講座は、長年通いながら造形力を高め、そこで得た造形感覚をまたいけばなにかすることで、より大きな可能性に繋げていくことを目的としています。自分自身の作風を獲得した方も数多くおり、花器に限らず、型にとられないユニークな陶オブジェ、茶碗なども制作できます。長年 陶芸コースの講師を務められた加藤清之先生監修のもと、これまで加藤先生のもとで、共に陶芸教室を支えてこられた飛松弘隆先生が本年度の講師を務めます。

●授業時間：11時～16時 ●受講料：年間8回コース 101,620円、年間5回コース 71,240円（※焼成費、送料別途）、体験レッスン 15,000円（未経験者対象、1回のみ、焼成費と送料込み） ●申込資格：草月流学習者（入門の方からご受講いただけます） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前 ②草指連会員番号 ③住所 ④電話番号 ⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。 ●申込締切：随時お申込みいただけます。

授業風景



なごやかな雰囲気できゅっくり制作できます！ 初心者、入門の方も大歓迎！

新規募集 『創造の扉』

創造力を刺激する、待望の新講座！ 早めのお申込みをお勧めします。

受講日	講師	内容
9月から全6回 原則として火曜日 2022年 9/6、11/15、12/6 2023年 2/7、3/14 ※6回目日程未定	 川名哲紀	『創造の扉』では、個々の“創造性”を掘り起こし、社会的な場へ展開してゆく後押しをして参ります。必要に応じてイベント観覧や講師が提案する素材の体験、また各自の活動や作品についての意見交換を通じて、“創造性”や“美意識”を磨きます。川名哲紀師範の指導のもと、受講生同士の個性を出し合い、一緒に人の心を刺激し躍動させる表現者を目指しましょう。今こそ創造の扉を開放しよう。

●授業時間：11時～16時 ●受講料：79,200円 ●申込資格：草指連会員 ●募集：若干名（定員になり次第締め切ります） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前 ②草指連会員番号 ③住所 ④電話番号 ⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。 ●申込締切：8月26日（金）※授業は講師講義と個人作品 / 個人活動の発表が基本となります。

草月 WEST 秋の特別野外セミナー

秋の京都で竹の合作に挑戦！
草月学習者であれば、どなたでも参加できます！

- 【日時】 2022年10月2日(日) 10時～17時
 【会場】 梅小路公園/京都市下京区 (JR梅小路京都西駅 目の前) ※草月 WEST から徒歩数分です。
 【技術指導】 草月アトリエ
 【参加料】 15,000円 (教材費・昼食込み)
 【内容】 秋空の下で竹のグループ合作を制作しましょう！ドリルや工具の使い方、重量バランスの取り方など、小品とは全く違う制作の手順を学びます！市民の憩いの場である公園を訪れる多くのお客様に、皆さまの作品を見ていただく機会となります！



- 申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①名前 ②草指連会員番号(お持ちの方) ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥門下別(または所属教室名)をご記入の上、草月 WEST までお送りください。●申込締切：9月10日(土)
 ●参加資格：草月学習者(初心者からベテランまでどなたでも受講可)
 ※本講座は、[公益財団法人京都市都市緑化協会]が主催する「梅小路公園グリーンフェア 2022 秋」事業の一環として出展し、同協会の協力を得ながら開講します。※作品の撤去は後日、運営側で行います。

サブスクリプション(定額見放題)の動画配信サービス

anytime SOGETSU エニタイム・草月



80本以上の動画を見放題	勅使河原茜家元と草月流本部講師による、いけばなデモンストレーションの動画が月額定額で見放題となるサービスです。草月のエッセンスが詰まったテキストに掲載されている各テーマより、実際に草月 WEST 家元教室などで披露されたものを、何度でも必要な時にご覧いただくことができます。毎月新しい動画が追加されます。	月額* 2,200円(税込) ※開始日より起算
動画の個別販売	サブスクリプション(定額見放題)は「ちょっと負担」という方は、目的の動画を1本から購入できます(30日間見放題)。「本部の教室にはなかなか通うことができないけれど家元と本部講師のデモンストレーションから学びたい」「草月カリキュラムの理解を深めたい」「自分の教室で行う授業の参考にしたい」「苦手な花材を練習して克服したい」……そのほか目的に応じて自由に動画を選ぶことができます！	1本 550円(税込)～

- 本サービス利用者の皆さまからお声が届きました！

コロナを機会にオンライン化が進み、地方にいても家元、本部講師の講座が受けられて、たいへん便利になりました。

私自身、教室を開いているのですが、忘れてしまっていることや、レッスンの際のポイントが含まれていて、とても参考になります。

花型の指導の仕方、いけながら言葉で伝えるポイントなど、すべてが役に立ちます。

ワークショップのテーマを決める際に、参考にさせていただきます。



anytime SOGETSU には、草月流ホームページの「草月を習う」メニューより、または上のQRコードより、どなたでもお入りいただけます。
<https://www.sogetsu.or.jp>

いけばな草月流がお届けする、アートと文化のオープンセミナー

SOGETSU X 第4弾

いけばなの可能性は無限です。そしていけばなも社会のなかで成立しています。さまざまなジャンルと草月流いけばながX(クロス)して新しいものが生まれます。コラボレーション相手に制限はありません。アートや工芸、そしてさまざまな面白いことをしている人・異業種・社会との交流企画で、化学反応のような新しい発見・体験をしましょう。

9月開講 自分の視点を知ることから —京町家で展覧会—

作品を作ることは、自分自身を表現することです。常に自分を俯瞰すること。そして、よりたくさんの発見をし、自分をプロデュースしてみましょう。「貴方の作品は何故この“場”にあるのか」「何故このような作品なのか」。作品のストーリーを作り上げることで、あなた自身を演出する方法を学びます。本講座では、京都の宮川町にある町家(雨柳デザイン事務所)にて、ミニ展覧会を開催します。

<講師略歴>

佐々木まなび(雨柳デザイン事務所代表、裏具 HAURA Kyoto Japan アートディレクター)

日本人独自の美意識「気配、間、間」に魅かれ、それらを意識したデザインを追求。茶道、美術館、舞台、装丁をはじめ大手菓子メーカー顧問、ショップの空間ディレクションも手がける。1986年 デザイン事務所を開設。1997～2017年 書家石川九楊氏に師事。2005年 株式会社グッドマンに取締役として就任。プロジェクトとして京都宮川町にオリジナルの紙文具「裏具」「URAGU HATCH」「URAGNO」をオープン。2020年 京都八坂通に初ユニット「HAURA Kyoto Japan」をオープン。2021年 『雨を、読む』を芸術新聞社より出版。株式会社グッドマンを辞任後「雨柳デザイン事務所」を開設。ほか、BS「極上の京都」、NHK コア京都海外版や婦人画報はじめ様々な分野で出演、掲載される。



受講日	時間	テーマ	内容
第1回 9月21日(水)	12時～16時30分	自分を知ることから～自分の好奇心を俯瞰してみる	「自分を演出すること」の練習を行います。簡単なテーマに対し、質問に答えていく方法でストーリーを導き出します。その後、展覧会場に移動し、作品の検討に入ります。 【会場】草月WEST ※途中から展覧会場(雨柳デザイン事務所/京都市東山区宮川筋)へ移動します。
第2回 10月12日(水)	12時～16時	好奇心と発見を舞台に～想像力をフルに働かせて、場所と素材を選ぶ	グループに分かれ、まずはテーマを決めることから。練習した過程をいかし、自分たちの物語を発表し、周りの受講生を感動させましょう！ 【会場】雨柳デザイン事務所(現地集合)
第3回 11月10日(木) ※曜日注意	13時～16時	この空間で自分の表現をする～ミニ展覧会まで	グループテーマをいかしながら、自分を表現した作品を制作発表します。同じテーマから生まれた、それぞれの物語を好奇心を持って聞いてみましょう。 【会場】雨柳デザイン事務所(現地集合)

展覧会

会場：雨柳デザイン事務所(入場無料)

※ 持ち回りで会場当番に入ってください。

日時：11月11日(金)～13日(日)

※ お手入れは毎日11時～12時です。

12時～16時(13日は16時以降に撤去)

- 受講料：29,700円(税込・3回分全納 ※展覧会の材料費は含みません) ●受講資格：草月学習者(初心者からベテランまでどなたでも受講可) ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・草指連会員番号(お持ちの方)・住所・電話番号・メールアドレス・門下別(または所属教室名)を明記の上、草月WESTまでお送りください。●定員：15名 ●8月9日(火)より募集開始 ●申込締切：8月31日(水) (ただし定員になり次第締め切ります)

本部主催支部研究会・講習会

神奈川県支部	8月7日(日)	講習会	横浜市社会福祉センター ホール	篠田岳青	☎ 045-331-1798
富山県支部	8月28日(日)	講習会	富山県民共生センター サンフォルテ	大野珀水	☎ 0766-23-7651
群馬県支部	9月4日(日)	講習会	群馬県生涯学習センター	正木虹映	☎ 027-327-7624
福島県支部	9月11日(日)	研究会	ビッグアイ	大河原喜恵	☎ 024-951-0390
東京北支部	9月11日(日)	研究会	草月会館	秋山美晴	☎ 090-2256-5360
山梨県支部	9月11日(日)	研究会	甲府市東公民館	五味鸞恵	☎ 055-253-1660
福井県支部	9月17日(土)	研究会	福井商工会議所 地下1階 国際ホール	吉元彰蘭	☎ 090-8096-2904
徳島県支部	9月25日(日)	研究会	ろうきんホール	新田陸嘉	☎ 088-625-6806
高知県支部	9月25日(日)	研究会	高知市南部健康福祉センター	筒井紅水	☎ 088-866-2336
岐阜県支部	10月2日(日)	研究会	岐阜県図書館 特別会議室	浦野忍花	☎ 0573-25-2793
青森県支部	10月10日(月・祝)	研究会	カダール(青森市男女共同参画プラザ)	小村美寿	☎ 090-5232-9246
香川県支部	10月16日(日)	研究会	高松市生涯学習センター(まなびCAN)	西山麗千	☎ 0879-52-3068
岩手県支部	11月6日(日)	講習会	盛岡市総合福祉センター 4階講堂	四役滋陽	☎ 019-623-5548
奈良県支部	12月4日(日)	研究会	草月WEST	早川邦篁	☎ 0745-52-1747

【国営昭和記念公園にて東京西支部と草月アトリエによる野外展が同時期に開催されます】

- 東京西支部 第26回「よみがえる樹々のいのち」展 10月11日(火)～11月27日(日) 国営昭和記念公園 問:久保田芳生 ☎ 042-521-1434
- 秋の夜散歩2022 10月28日(金)～11月27日(日) 国営昭和記念公園 日本庭園 伊藤佑飛・深澤隆行・御手洗直己 問:花プロジェクト部 ☎ 03-3403-5278

フラワーク

とらや赤坂本店	8月	8月25日まで	河村仙蘭	赤坂見附
	9月	8月26日～9月26日	孝治蓮唱	
	10月	9月27日～10月27日	泉知萩	
ザ・キャピトルホテル東急	常設		深澤隆行	溜池山王・国会議事堂前
赤坂エクセルホテル東急	常設		飯岡湖武孜	赤坂見附
ホテルニューオータニ東京(ロビー階)	8月4日まで		久保島一超	赤坂見附・永田町・麹町
	8月4日～9月8日		日向洋一	
	9月8日～10月13日		竹中麗湖	
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)	常設		御手洗直己	みなとみらい・桜木町
ラフォーレ原宿 2.5階 GR8	常設		座・草月	明治神宮前・原宿
ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3階ロビー)	常設		高嶺一染	梅小路京都西
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで	8月1日～12日		田淵章流	青山一丁目
	8月22日～3日		武藤星芳	
	9月5日～16日		西山光沙	
	9月20日～30日		岡崎忍	
	10月3日～15日		州村衛香	

【草月コレクションがご覧いただけます】

- 「ミロ展—日本を夢みて」にてジュアン・ミロ作品 4 点が展示されます。
9月4日(日)まで 富山県美術館 問:☎ 076-431-2711

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。9月3日(土)、10月15日(土)、11月12日(土)、12月10日(土) ※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、広報部までご報告くださいますようお願い申し上げます。【広報部】 TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:pr@sogetsu.or.jp

年間行事予定

7月1日(金)～8月31日(水)	WEB家元講習会プログラム4「夏の花」配信期間
8月13日(土)～21日(日)	草月会館夏季休館日
9月7日(水)～27日(火)	草月の秋2022(玉川高島屋S・C) ※家元、東京西支部、東京南支部、神奈川県支部によるフラワーク
9月21日(水)～24日(土)	マサチューセッツ支部50周年記念イベント(ハイアット リージェンシー ポストン/ USA) ※家元デモンストレーション、ワークショップ
10月13日(木)	財団理事会
10月19日(水)～24日(月)	第103回草月いけばな展(日本橋高島屋S.C.)
10月26日(水)～31日(月)	創立55周年記念 日本いけばな芸術展(大阪高島屋) ※家元通期出品
11月22日(火)・23日(水・祝)	オータムセミナー(草月会館) ※予定

支部展

千葉県支部展『ハナノフク』—未来をみつめて—	9月2日(金)～5日(月) そごう千葉店 ※家元出品	野村浩秋	☎ 043-291-1163
岩手県支部展「未来へつなぐ花」	9月3日(土)・4日(日) アイーナいわて県情報交流センター 4階県民プラザ・5階ギャラリー	四役滋陽	☎ 019-623-5548
秋田県支部展「—明日へ続くかけはし—」	9月22日(木)・23日(金・祝) 秋田拠点センターアルヴェ きらめき広場	藤澤和交	☎ 018-832-9420
京都支部展「秋だ! SOだ! WESTだ!」	10月8日(土)～10日(月・祝) ホテルエミオン京都 10月9日(日)・10日(月・祝) 草月WEST	森英琴	☎ 075-601-9209
新潟県支部「花のちから～新しい空間に挑戦～」	10月22日(土)・23日(日) 新潟日報メディアシップ	荒川玉萩	☎ 025-273-4324
宮崎県支部展	11月13日(日)・14日(月) 黒木本店 第8貯蔵庫 野外ステージ	中武南羽	☎ 090-3327-4551
山梨県支部展「今を生ける」	11月19日(土)・20日(日) 山梨県立図書館 イベントスペース(西面)	五味鸞恵	☎ 055-253-1660
鹿児島県支部展「新たな出会い」	11月24日(木)～27日(日) よかど鹿児島(鹿児島銀行本店ビル)	島田美佐子	☎ 099-225-4050
香川県支部展「紡ぐ～めぐりあい」	11月26日(土)・27日(日) 栗林公園	西山麗千	☎ 0879-52-3068

各地の展覧会

越後妻有 大地の芸術祭 2022「妻有いけばな回廊」 10月10日(月・祝)まで まつだい「農舞台」フィールドミュージアム(新潟県十日町市) 出品者:秋山美晴、今津友青、大谷美香、大塚理司、かとうさとる、千羽理芳、長井理一、日向洋一	大塚理司	☎ 080-6517-4921
第28回 長崎原爆資料館献花～平和への祈り～	8月8日(月)～10日(水) 長崎原爆資料館	森涼樹 ☎ 090-4489-8295
からんとそーじゅーのふたり展 ぱーと1	9月2日(金)～14日(水) 都営三田線 三田駅 ギャラリーコーナー	橋本佳蘭 ☎ 090-7052-1576
セラミックパークMINO開館20周年記念 月見の宴 セラミックパークMINO 9月17日(土)～10月2日(日) ※期間中オブジェ作品を展示 10月2日(日)演奏会・茶会 ※舞台花などを担当	古田静波	☎ 090-6646-4271
第23回 大澤秀紅社中展「花のカウンタービレ」	9月24日(土)・25日(日) 三島商工会議所 TMOホール	大澤秀紅 ☎ 090-3305-0995
茨城県支部県南地区いけばな展	10月1日(土)・2日(日) 茨城県県南生涯学習センター	宮崎淑穂 ☎ 090-4455-8141
花のライブ in 秋の帯広 Koka with 北のルビーの会	10月2日(日) 六花亭帯広本店 4階はまなしホール ※有料	福島光加 kokafukushima@gmail.com
森林公園Harmony with the Nature 2022	10月8日(土)～2023年1月14日(土) 国営武蔵丘陵森林公園	金田紫星 ☎ 090-8016-6598
富山県支部三創会 創立60周年記念いけばな展	10月9日(日)・10日(月・祝) 富山県民会館	肥田緑仙 ☎ 0766-54-1209
Transition —とぎのながれ	10月14日(金)～17日(月) ANAインターコンチネンタルホテル東京	モランジュ真紀子 ☎ 090-5907-0070
二流派展(同じ花材で生けてみたら)	10月29日(土)・30日(日) 旧山崎家別邸(川越市)	大重由虹 ☎ 090-1805-5453
武藤蕉朝社中展 第8回ほっとLounge 'M' お花展	10月30日(日)・31日(月) 草月プラザ	武藤蕉朝 ☎ 080-6808-0031
竹内双芽教室展「大谷石花器にいける」	11月10日(木)～13日(日) ヘルテラシェ大谷 ヘルテラシェ体験館	竹内双芽 ☎ 090-4177-1300
いけばなグループ「ふ・あり」社中展 イロトリドリ PART2 11月24日(木)～29日(火) 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター A・B館5階ブリッジギャラリー	北村青葙	☎ 090-9830-7892

オンラインで楽しむ草月のいけばな

WEB家元講習会 「夏の花」配信中!

[日本語版・英語版] 8月31日(水)まで配信!

WEB家元講習会は今まで4回(プログラム1~3、特別プログラム)にわたって配信してまいりました。今回の第5弾は「夏の花」をテーマに、家元と2名の本部講師が様々なアイデアで計7作を制作しています。それぞれの想いや工夫を凝らした夏ならではの花を、この機会にぜひお楽しみください。

プログラム4 「夏の花」

講師



家元



竹中麗湖



日向洋一

配信期間	テーマ(内容)	料金
8月31日(水)まで	オープニングトーク/夏の女王 ダリア/器はいけられてこそ生きてくる。/エコと希望の光/室礼 豊かな生活の彩り/夏への扉 緑のハーモニー/夏への扉 涼に憩う/夏への扉 色彩の戯れ/クロージングトーク	5,000円(税込)

【受講対象者】草月流を習っている方ならどなたでも。

今までのプログラムは、草月指導者連盟会員の方限定で配信しておりましたが、本プログラムは、どなたでもご受講いただけます。ぜひご社中の方やお弟子さんにもご紹介ください!

※動画はご購入いただいたご本人のみでの視聴をお願いしております。動画の共有はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

【視聴方法】2通りございます。

①従来のメンバーズサイトからログイン

※お手持ちのスタートガイド、または草月メンバーズサイトをご覧ください。

②草月流ホームページから新たにログイン NEW

草月流ホームページより直接動画配信サイトに入れます。

- ・初めてのの方は、無料会員登録からお願いします。
- ・以前ご登録いただいた方は、会員登録の必要はございません。

ログインして、動画をご視聴いただけます。

※お支払いは、カード決済の他、銀行振込、草月会館会員サービス部、草月 WEST 窓口でもできます。

カード決済以外の場合は入金処理まで1週間程かかることもありますので、あらかじめご了承ください。

●サポートします!ご連絡ください。

視聴方法がわからない方は、事業課スタッフがサポートします。お気軽にお問合わせください。

お問合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp



どなたでも
受講可能



草月文化活動支援基金への
ご協力ありがとうございます

2022年5月~6月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。(掲載は一万円以上、敬称略)

大澤秀紅、「4クローバーズホテルにける
III 五月のかげ」出品者一同、東京西支部、
古家賀苑、佐藤康水、株式会社富士陰ビル
ディング、平石丹珠萌、井上紫苑、今村草
玉、静岡県支部、茨城県支部、秋山美晴、
福岡県支部、白崎秀畔、竹之内昇紀、花の
会クレアトゥールさくら

機関誌『草』の海外発送について

海外在住の会員の皆さまへの、機関誌『草/So Newsletter』の郵送によるお届けは前号をもって終了しております。今号より「草月指導者連盟メンバーズサイト」内にて、スマートフォンやパソコンから電子版をご覧いただけます。

訃報

恩田フサ子(美房) 東京都/顧問
二〇二二年三月四日 享年九十四歳
日比野桂子(朱桂) 岐阜県/顧問
二〇二二年三月二十六日 享年八十三歳
太田登己子(静翠) 神奈川県/理事
二〇二二年五月十一日 享年九十四歳
立野充子(美抱) 富山県/理事
二〇二二年五月十一日 享年七十八歳
井上和子(香梢) 大阪府/顧問
二〇二二年六月二十七日 享年七十九歳

看板・席札の料金変更

昨今、使用しております原材料等の価格が上昇しており、看板と席札の申請料金を2023年1月1日より改定させていただきます。

※日本国内申請料金には消費税と送料、海外申請料金には国際航空郵便の送料がそれぞれ含まれています。

	国内会員 (消費税10%・送料含む)	海外会員 (送料等含む)
看板	44,000円	44,000円
席札	26,400円	26,000円

証書・席札・看板の発送代行サービス (有料)を開始します

証書、看板・席札は本部から申請者(先生)に送付し、内容をご確認の上、生徒本人へお渡しいただいておりますが、直接のお渡しができず郵送が必要な場合は、本部が発送を代行いたします。

【受付開始】2022年8月1日の申請より

【申込方法】申請時に代行料金を添えてお申込みください。

※お申込みは申請者(先生)に限ります。

※お申込み後の返金はいたしかねます。

※発送先の変更・追加は申請日より1ヶ月以内にお申し出ください。

※発行後の発送代行サービスへの受付はいたしかねます。

● 発送代行料

申請者(先生)が国内在住会員の場合	日本国内宛(郵送先1ヶ所につき)	証書¥2,000 ~ 看板・席札¥3000 ~
	海外宛(郵送先1ヶ所につき)	証書¥3,000 ~ 看板・席札¥4,000 ~
申請者(先生)が海外在住会員の場合	日本国内宛(郵送先1ヶ所につき)	証書¥2,000 ~ 看板・席札¥3000 ~
	海外宛(郵送先1ヶ所につき)	証書¥3,000 ~ 看板・席札¥4,000 ~

※発送量により料金は変わります。(詳細はお問合わせください)

※郵送料の値上げ等に伴い、発送代行料は今後変動することがあります。

お問合わせ [草月文化事業株式会社 証書作成室] TEL: 03-3408-1128 / E-mail: shousho@sogetsu.com